



青柳園だより

令和元年
9月号
文京区立青柳幼稚園

『はじめの一步』からの積み重ね

園長 多比良 由恵

セミの声からスズムシの声に変わり、朝晩は随分過ごしやすくなってきました。今日から新学期、子どもたちの明るい声と笑顔が、幼稚園にたくさん戻ってきました。44日間の夏休み、ご家庭ではどのように過ごされましたか。幼稚園では、預かり保育「にこにこ」の子どもたちや園庭・プール開放で遊ぶ親子などで賑わっていた毎日でした。

私は、1学期終業式の日、大塚児童館の夏まつり「ミニミニえんにち」に遊びに行かせていただきました。小学生が張り切ってお店の仕事をしている姿や、たくさんの未就学児親子や小学生のお客さんの賑わいを体感しました。また、夏休み初日には、護国寺のラジオ体操に参加させていただきました。地域の子どもから大人まで大勢の皆さんとご一緒に、ラジオ体操をし、清々しいひと時を過ごさせていただきました。改めて地域の中で紡がれるつながりや、地域で育まれている子どもたちであることを心強く感じました。

さて、東京2020オリンピック・パラリンピックまで、いよいよ1年となりました。幼稚園の玄関には『パラリンピックまでの500日カウントダウンカレンダー』があります。その毎日のページに『今日の成果』という欄があります。アスリートの皆さんは、毎日の積み重ねや継続の力によって、本番を迎えられます。カレンダーを目にする度に、「私の今日の成果は?」「こんなこと頑張ったな」「これは、明日こそ挑戦しよう」など、1日1日を想うきっかけになればと思います。私たちの暮らす東京で、1年後にオリンピック・パラリンピックが開催されるという、誰にとっても生涯かけがえのない貴重な日々を、大切に過ごしていきたいですね。

また、開催に向けては、各競技のテスト大会や様々な方面からの対策や検証が行われています。いろいろ考えたり試したりしながら、よりよい方法を探っています。身近なところでは、熱中症対策や交通機関の混雑緩和に向けた取組が話題になっています。時差通勤、エスカレーターの乗り方、テレワーク、ワーケーションなどの取組も始まっています。どんな取組や挑戦もすぐには成果や成功につながらないかもしれませんが、『はじめの一步』から始まっています。

幼稚園で、子どもたちが遊びや生活を送っていく日々の教育活動の中にも、同じように様々な挑戦や工夫があります。先生と子どもたちが一緒になって、遊びを楽しくしていったり、困ったことを解決したりしていきながら、2学期も子どもたちの健やかな成長を育んでまいります。ご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い致します。



モルモットのもるのすけを
お預かりいただきました皆様、
ありがとうございました❤️

年長ゆり組の栽培しているポップコーンが大きくなりました